
新真庭忍軍魔導語

真庭雷鳥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新真庭忍軍魔導語

【コード】

N9938Y

【作者名】

真庭雷鳥

【あらすじ】

真庭忍軍の子孫である真庭天狐はミッドチルダに新たな歴史を作り出そうと新真庭忍軍を創設し、若き頭領として現世を突き進む。

様々な忍法と魔法が織り成す超絶特殊な鮮烈な物語

ガイガイド

プロローグ（前書き）

またまたやってしまった新たな作品。

真庭天狐と新真庭忍軍、ヴィヴィオ達の痛快愉快な物語をよろしく
お願いします。

プロローグ

次元の海を中心世界『ミッドチルダ』

都市型テロ『J S 事件』の発生と解決からはすでに4年が経過した

平和な日々の中、地球の乱世の世であった時代、里の危機から逃れるため、幕府を裏切り、変体刀を巡る争いで滅びたと表の歴史で語られる忍者集団、真庭忍軍。

実はほんの僅かな者が生き残り、現世までその血と忍法を残してきた彼らの子孫は新たななる集団を創設し、その名を轟かせようとしていた。

その者の名は真庭天狐。

新真庭忍軍の次期頭領であり、元祖真庭忍軍の末代の頭領たちの忍法と、伝説の刀鍛冶である四季崎記紀と同等の技術を持つ彼は新たな真庭忍軍 新真庭忍軍 の若き長として、ミッドチルダに新たな歴史を作る決意を持ち、今日も現世を行く。

プロローグ（後書き）

プロローグだけど、マジもんで辛い。

書いてる作品は原作を持っているけど、やっぱり初心者だなあと痛感
されます。

新真庭忍軍の始動（前書き）

やっと更新しました。

ストーリーを練るのがこんなにもつらくなるとは……

新真庭忍軍の始動

「なあ、アニキ。いつまであれをやり続けるんだよ？」

St・魔法学院の図書館で、赤い髪の少年 サイト・クレイヤー
ド は愚痴を漏らした。

「『霸王』を倒したいとお前が言ったから格闘系の実力者ばかり
相手にさせているだろうが、黒龍」

アニキと呼ばれた金髪の少年はサイトを黒龍と呼んで宥めていた。

「そう言っても、アニキ以外は手応え無さ過ぎるヤツばっかなん
だけどなあ」

「だったら、俺が格闘家になれば、アイツは来る。そして、お前
に替われば問題ないだろ」

「けど、アニキが今格闘家になっても遅すぎねえか？」

「ヒント、末代蝙蝠」

「もしかして……骨肉細工？」

サイトが頭に浮かんだ答えを言うと、金髪の少年は含みのある笑み
をした。

「ビンゴ。俺の知り合いが『霸王』のターゲットになるから、骨肉細工で騙して誘い出し、お前を呼んで名乗り上げる。『霸王』はお前が戦えばいいさ」

「スゲエ、アニキ！マジでマキシмумカッケース！」

「図書館では静かにしろ」

「う……。すみません、アニキ」

サイトが興奮気味で金髪の少年を尊敬したが、図書館の規則を指摘され、すぐに謝った。

「じゃ、先に準備するからな」

そう言って、金髪の少年は図書館を出た。

同時刻、聖王協会本部

「頭領からの指示だから任務をお願い。木菟」

「承知した、喰鯨。いや、ここではシスターマリナと言うべきか」

「この辺りは私以外は知らないから喰鯨でもいいわよ」

協会のある場所で、木菟と呼ばれた男と、喰鯨と呼ばれたシスターマリナが密会をしていた。

木菟は灰色をベースとした服装だが、袖を切り落とした上に鎖を左腕と腰に巻いていると奇妙な姿である。

一方マリナは修道服に身を包んでいるが、袖の部から鎖がはみ出している。

「しかし、実力のある格闘系ばかり狙う『霸王』を名乗る者と黒龍の戦いを記録する任務とは、頭領もなかなかの物好きとは思わぬか喰鯨よ」

「なんか黒龍の実力を管理局に知らしめようと考えているみたいだよ。私達新真庭忍軍は时空管理局の一部しか知られてないし。それに、黒龍は前から私達以外に実力のある者と戦いたがってから」

「なる程。それならば納得がいくな」

木菟はそれではとマリナに言うと、音も無くその場を去った。

「さてと、そろそろ戻らないとシスターシャツハに怒られちゃうな」

喰鯨もといマリナも修道服からはみ出ている鎖を戻しつつシスタ
ーシャツハの所へ向かった。

「さて、『霸王』の子孫は黒龍の重さの耐えられるかな」

人気が少ない路地で金髪の少年 真庭天狐は一人笑みを浮かべて
いた。図書館で黒龍と会話サイトをしていた時とは違い、袖が無い金に近い
黄色の服装で腰と足首に鎖を巻いた姿だった。

身長も高く、同じ新真庭忍軍でなければ、同一人物とは思わない
だろう。

「ミッドチルダに新たな歴史を創作する新真庭忍軍頭領、『無限
の真庭天狐』。行きますか」

新真庭忍軍頭領と『霸王』を名乗る少女。

二人の出会いは新真庭忍軍の存在を世界に知らせることになる。

新真庭忍軍の始動（後書き）

新真庭忍軍頭領と新真庭忍軍4人の登場です。
新真庭忍軍の詳細は後の話にて知らせます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9938y/>

新真庭忍軍魔導語

2011年12月2日14時52分発行